

平成31年度事業計画及び 収支予算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 平成30年度 主な取り組みと今後の課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
社会福祉施設の経営分析	- 安定的な施設経営 - サービスの質向上	- 経営分析手法の研修開催 - 施設職員の施設間相互受入研修の実施 - 物品共同購入による経費削減	- 更なる経営知識の向上 - 研修体制の体系化 - 安定した人材確保対策
支部・赤十字病院と連携した救急法等指導員の養成推進	地域社会との連携強化	- 施設における救急法等講習開催 - 計画的な救急法等指導員養成	講習を通じた地域包括ケアシステムへの貢献
社会福祉施設のボランティア活動内容の拡充	- 新たなボランティアの確保 - ボランティアによる主体的な活動	- 広報媒体によるボランティア活動内容の発信 - 施設間の情報共有	- ボランティア主体の活動の増加 - ボランティア活動時の安全対策

2. 平成31年度事業計画 <社会福祉事業>

事業環境

- ・超高齢社会の進展に伴う介護ニーズの増加
- ・少子化、核家族化が進む中で深刻化する育児不安や子育て家庭の孤立、虐待の増加
- ・障がい者の自立と社会参加に向けた環境整備の必要性

基本的な方向性

- ・安定した施設経営の継続
- ・安全かつ質の高いサービスの提供
- ・地域包括ケアシステムを見据えた地域貢献活動の推進

施策

- (1) 社会福祉施設の経営改善
- (2) 社会福祉施設におけるボランティアの参画拡大
- (3) 支部・施設・ボランティア等の連携による地域貢献活動の推進

(1) 社会福祉施設の経営改善

日赤グループとしての取り組み⇒安定した施設経営

経営管理の強化

- ・外部の専門講師による研修の実施
- ・他法人等の経営状況の調査 等



経営知識向上のための研修会の開催
(本社主催)

サービスの強化

- ・職員の施設間相互受入研修の実施
- ・専門研修の受講促進の強化 等



安全と質の向上のための研修会の開催
(施設主催)

(2) 社会福祉施設におけるボランティアの参画拡大

ボランティアの主体的な活動の促進
⇒ 多様化する社会福祉ニーズへの対応及び支援者の確保

ボランティアによる企画立案

- ・新規ボランティア募集の広報活動
- ・ボランティア主体のイベント実施 等



ボランティアによる人形劇上演
(松本赤十字乳児院)

企業のCSR受入れ

- ・企業の特徴を生かした支援方法の提案
- ・支部・施設と連携した支援先開拓



全日本空輸株式会社による夏祭り
(児童養護施設 赤十字子供の家)

(3) 赤十字の特色を生かした地域貢献活動の推進

支部・施設・ボランティア等の連携による地域貢献
⇒地域の福祉拠点としての役割

出前講座の実施

- ・認知症、介護予防講座
- ・災害時の高齢者支援講座 等



地域の高齢者への認知症予防講座
(特別養護老人ホーム大寿園)

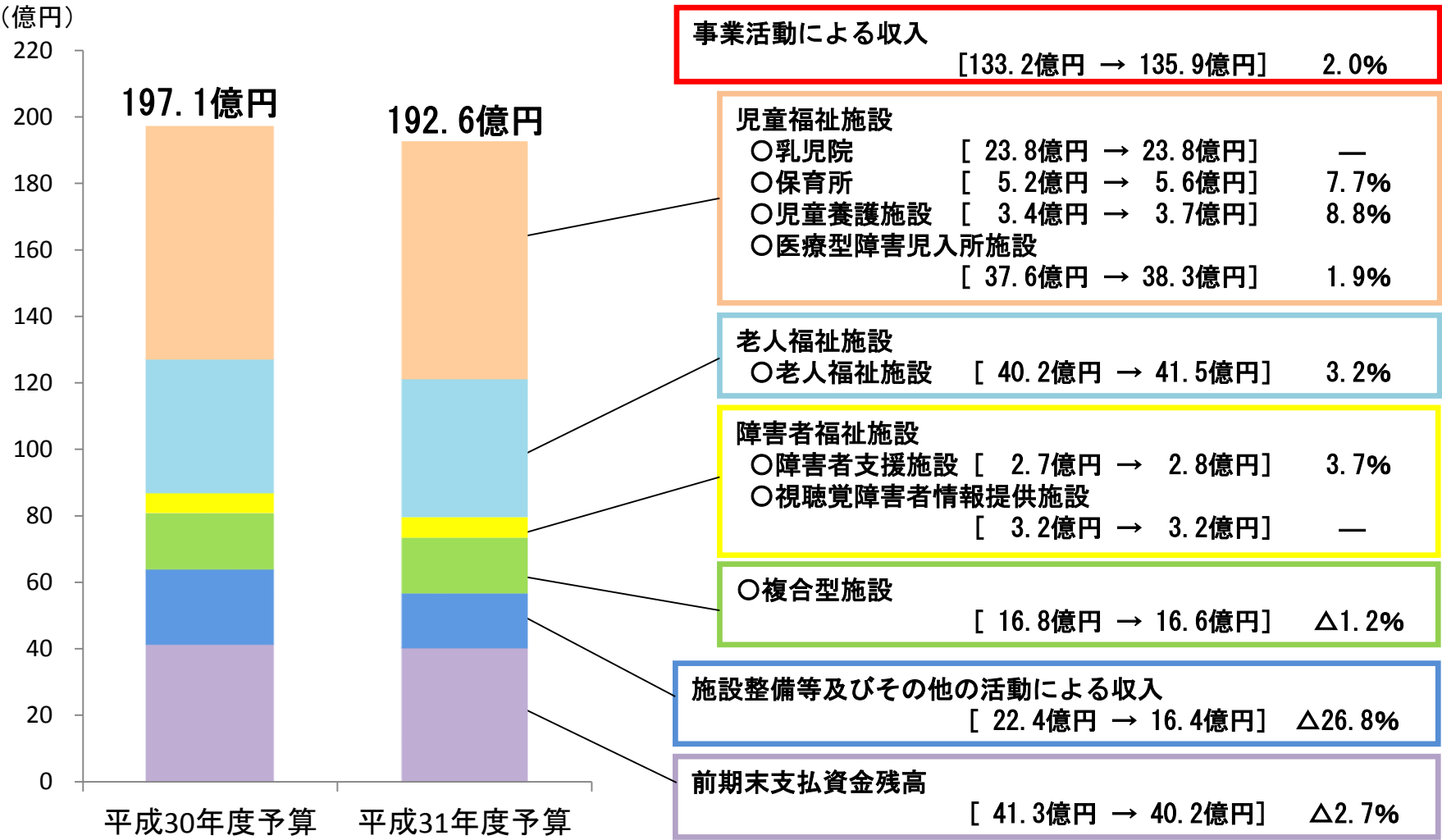
地域住民への施設開放

- ・近隣子育て世帯等への支援
- ・地域イベントの実施 等



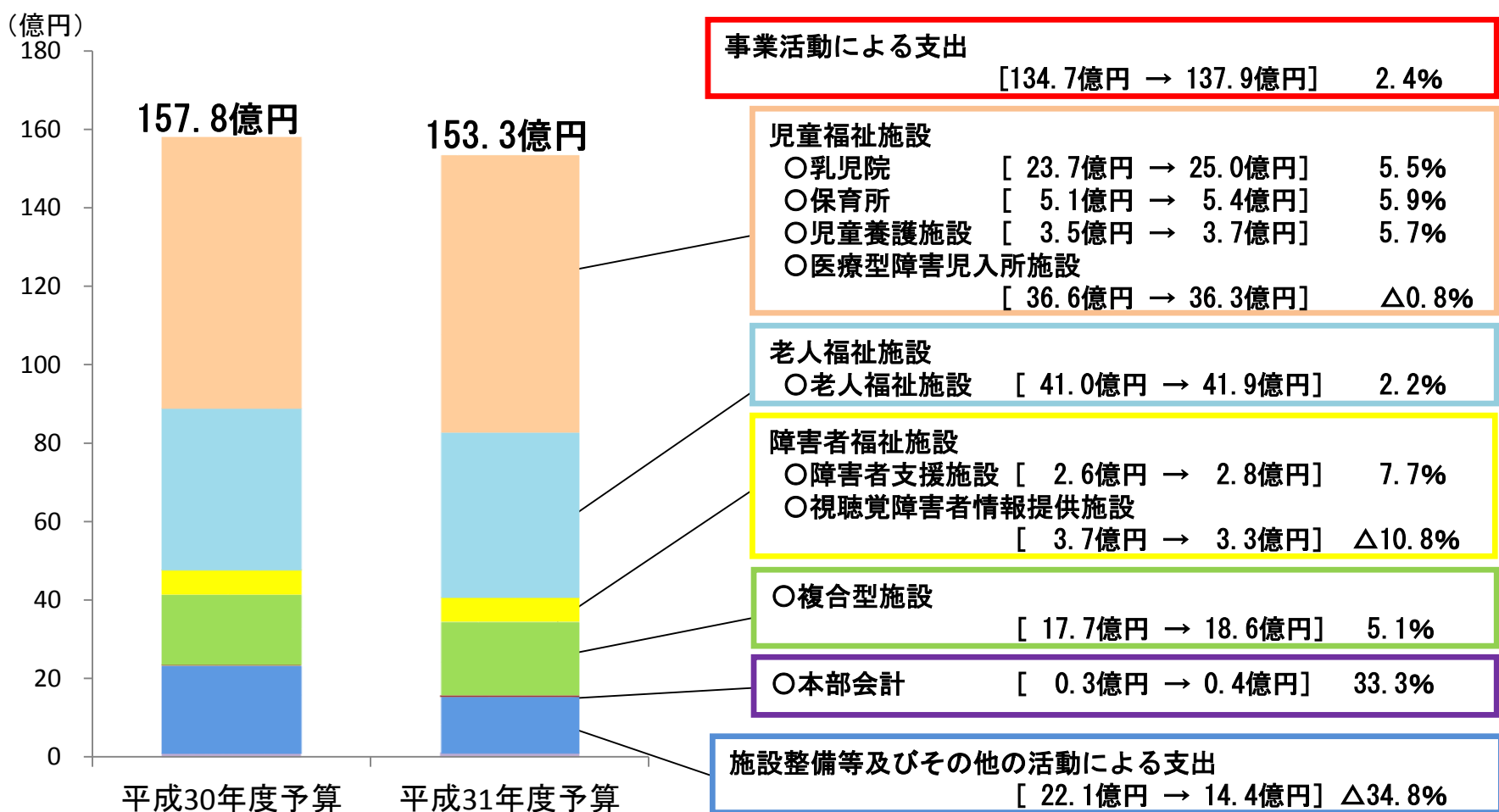
近隣親子へのベビーマッサージ教室
(松江赤十字乳児院)

3. 平成31年度社会福祉施設特別会計歳入予算



	平成30年度	平成31年度	増減額	増減率
収入合計	197.1億円	192.6億円	△4.5億円	△2.3%

4. 平成31年度社会福祉施設特別会計歳出予算



	平成30年度	平成31年度	増減額	増減率
支出合計	157.8億円	153.3億円	△4.5億円	△2.9%
収入支出差引額	39.2億円	39.2億円	—	—